

秋立つ高の瀬峡で「第6回 那賀川源流コンサート」を開催しました

剣山溪を望む高の瀬峡は、那賀川の源流にほど近く、秋にはすばらしい紅葉に囲まれます。この高の瀬峡において、平成25年10月27日(日曜日)、「那賀川アフターフォーラム」主催、「ゆきかう那賀川推進会議」後援による「那賀川源流コンサート」を開催しました。



このコンサートは、那賀川における流域内交流の活性化、上下流連携の推進による地域振興を目指して平成18年から開催しているもので、今年で6回を数えます。



木々の色付きはじめた高の瀬峡は少し肌寒さがありましたが、出演者を含め、約180名もの方々にご来場頂きました。また、前々日の台風通過の影響も感じさせず、コンサートが始まって以来初めてとも言える素晴らしい秋晴れとなりました。



那賀町から参加の「上流の小さなピアニストたち」



阿南市から参加の「下流の小さなピアニストたち」



流域の小学生による元気な合奏



マリンバとピアノの優しい音色



清々しく響く、フルートとピアノの演奏



ギター・チェロ・ピアノの重厚な演奏



ユーフォニューム、鍵盤ハーモニカ、鍵盤リコーダー、クラリネット、カホン、パーカッションと一人何役もこなす楽器の演奏



不思議な音色のスチールパンの演奏
(トリニダード・トバゴの民族楽器)



那賀川下流域の高校生、中学生皆さんの壮大な演奏でプログラムを終えました。

出演者のすばらしい演奏や歌声に、会場全体は暖かい雰囲気となり、最後は、参加者全員で「ふるさと」を合唱し、那賀川流域の素晴らしい自然にそれぞれの思いを巡らせました。

